

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成22年7月15日 (2010.7.15)

【公表番号】特表2009-538653(P2009-538653A)
 【公表日】平成21年11月12日 (2009.11.12)
 【年通号数】公開・登録公報2009-045
 【出願番号】特願2009-512563(P2009-512563)
 【国際特許分類】

A 4 6 B 5/00 (2006.01)

A 4 6 B 3/18 (2006.01)

【F I】

A 4 6 B 5/00 B

A 4 6 B 3/18

【手続補正書】
 【提出日】平成22年5月17日 (2010.5.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ハンドル部ならびにブラシ部材を備える歯間ブラシであって、
 前記ブラシ部材は、前記ハンドル部の前端から突出し、当該ハンドル部は、本体部ならびに、復元力を有する移行部を備え、当該移行部は、前記ハンドル部の前記前端を形成し、
 当該ハンドル部は、さらに、前記移行部内に中空の空洞を備えること、
 を特徴とする歯間ブラシ。

【請求項 2】
 請求項 1 に基づく歯間ブラシにおいて、前記ハンドル部の前記本体部は、硬いこと、
 を特徴とする歯間ブラシ。

【請求項 3】
 請求項 1 または請求項 2 に基づく歯間ブラシにおいて、前記中空の空洞は、空気で充た
 されること、
 を特徴とする歯間ブラシ。

【請求項 4】
 前述のいずれかの請求項に基づく歯間ブラシにおいて、前記中空の空洞は、密閉される
 こと、
 を特徴とする歯間ブラシ。

【請求項 5】
 請求項 4 に基づく歯間ブラシにおいて、前記中空の空洞は、前記ハンドル部の前記本体
 部とともに前記移行部によって、密閉されること、
 を特徴とする歯間ブラシ。

【請求項 6】
 請求項 4 に基づく歯間ブラシにおいて、前記中空の空洞は、前記移行部のみによって密
 閉されること、
 を特徴とする歯間ブラシ。

【請求項 7】

前述のいずれかの請求項に基づく歯間ブラシにおいて、前記中空の空洞の体積は、前記移行部が外部の力を受けた場合に減少すること、
を特徴とする歯間ブラシ。

【請求項 8】

前述のいずれかの請求項に基づく歯間ブラシにおいて、前記ブラシ部材は、前記移行部ならびに前記中空の空洞を通じて伸張し、前記ハンドル部の前記本体部に固定される、脊椎を備えること、
を特徴とする歯間ブラシ。

【請求項 9】

請求項 8 に基づく歯間ブラシにおいて、前記移行部の先端は、外部の力を受けた場合、前記脊椎に沿って細くなるよう構成されること、
を特徴とする歯間ブラシ。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 9 のいずれかの請求項に基づく歯間ブラシにおいて、前記移行部は、その先端に向かって先細であること、
を特徴とする歯間ブラシ。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 10 のいずれかの請求項に基づく歯間ブラシにおいて、前記移行部は、前記本体部に固定されること、
を特徴とする歯間ブラシ。

【請求項 12】

請求項 11 に基づく歯間ブラシにおいて、前記移行部は、機械的手段により前記本体部に固定されること、
を特徴とする歯間ブラシ。

【請求項 13】

請求項 12 に基づく歯間ブラシにおいて、前記機械的手段は、インターロッキングメカニズムを備えること、
を特徴とする歯間ブラシ。

【請求項 14】

請求項 13 に基づく歯間ブラシにおいて、前記移行部は、前記本体部の凹部内に組み込まれ、前記インターロッキングメカニズムは、前記凹部の内側に突出部を係合させる前記移行部の外側に突出フランジを備えること、
を特徴とする歯間ブラシ。

【請求項 15】

請求項 1 ~ 14 のいずれかの請求項に基づく歯間ブラシにおいて、前記ハンドル部の前記本体部は、2つの半分部分を備えること、
を特徴とする歯間ブラシ。